

蚊がうつす病気

大きい



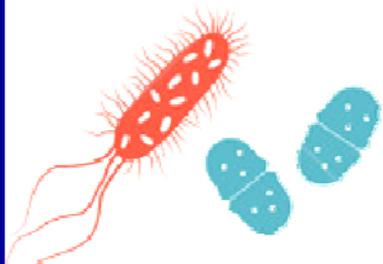
20 cm

糸状虫 しじょうちゅう



1~20 μm
マイクロメートル
(1 ミリの千分の一)

原虫 げんちゅう



0.5~10 μm
マイクロメートル

細菌 さいきん



20~300 nm
ナノメートル
(1 ミリの百万分の一)

ウイルス ういるす

小さい

患者さんの数

外国に旅行して病気になった人の数					日本で病気になった人			
病気の種類	2013年	2014年	2015年	2016年	2013年	2014年	2015年	2016年
マラリア	47	24	41		0	0	0	0
日本脳炎 <small>にほんのうえん</small>	0	0	0	0	9	2	2	0
デング熱	249	179	292	99	1	162	0	0
チクングニア熱	14	6	17		0	0	0	0
ロスリバー熱	1	0	0	0	0	0	0	0
ジカウイルス病	1	2	0	7	0	0	0	0

※2016年6月の環境学習実施時点

日本にいる病気をうつす蚊の代表



ぼうふら（幼虫）がいる場所

ヒトスジシマカやアカイエカ

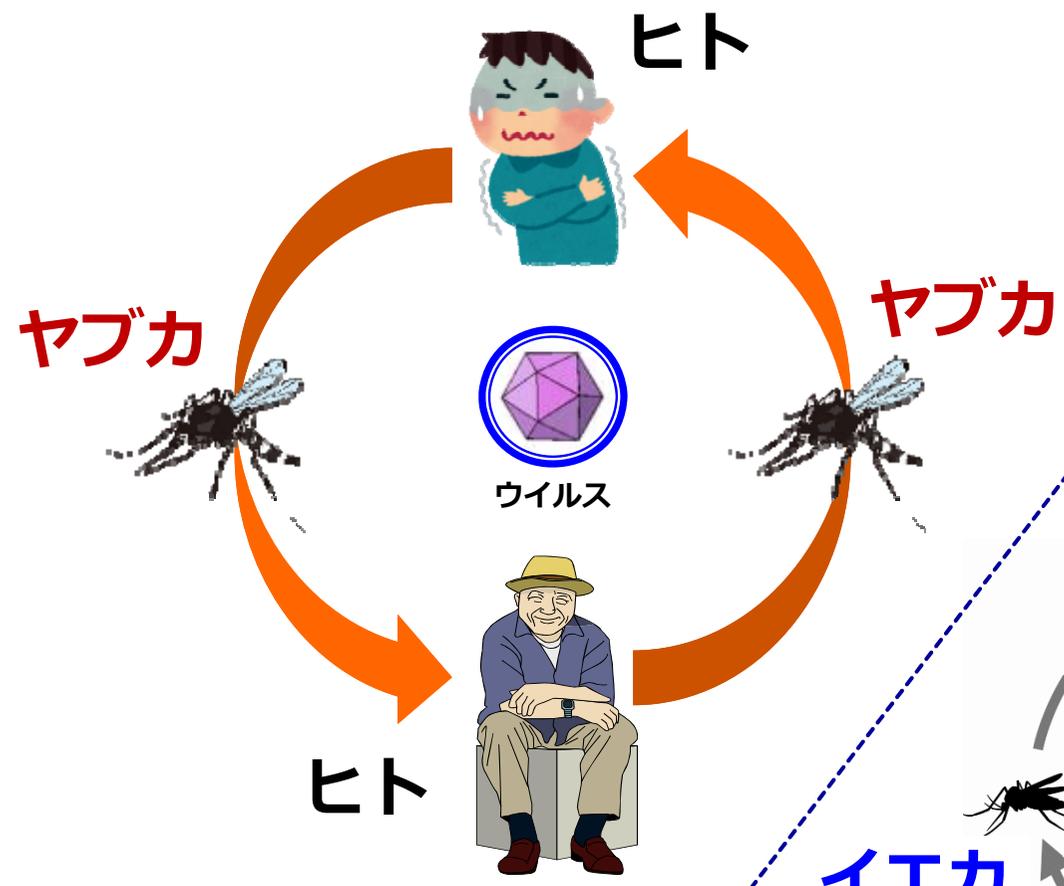


コガタアカイエカやハマダラカ

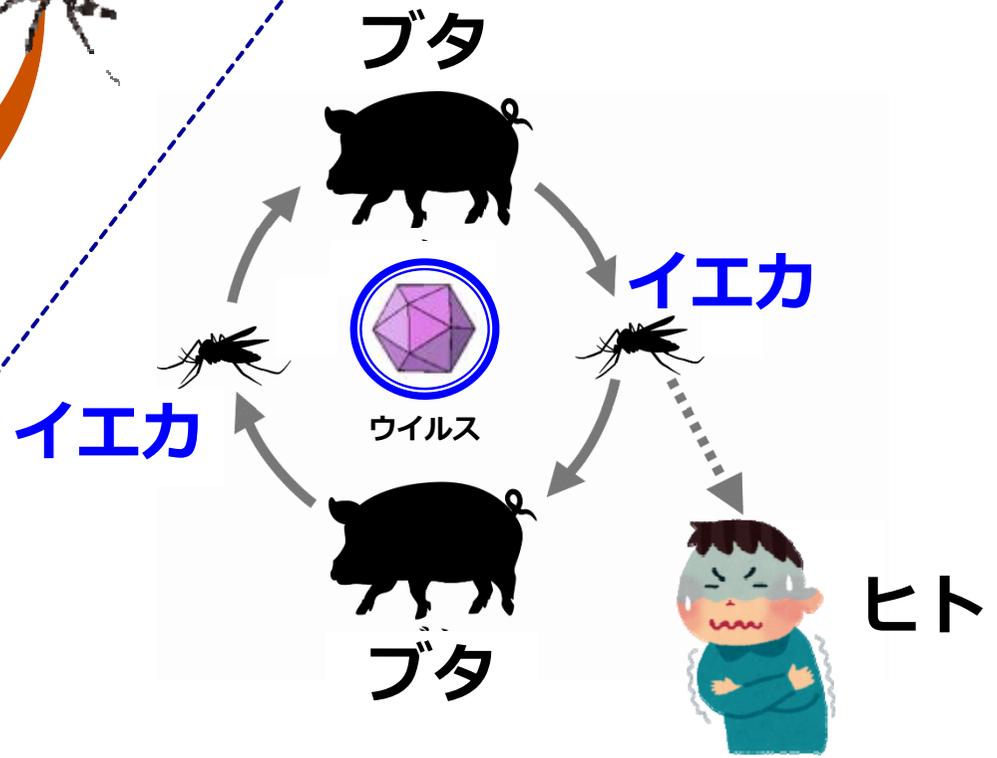


ヒトスジシマカはいない

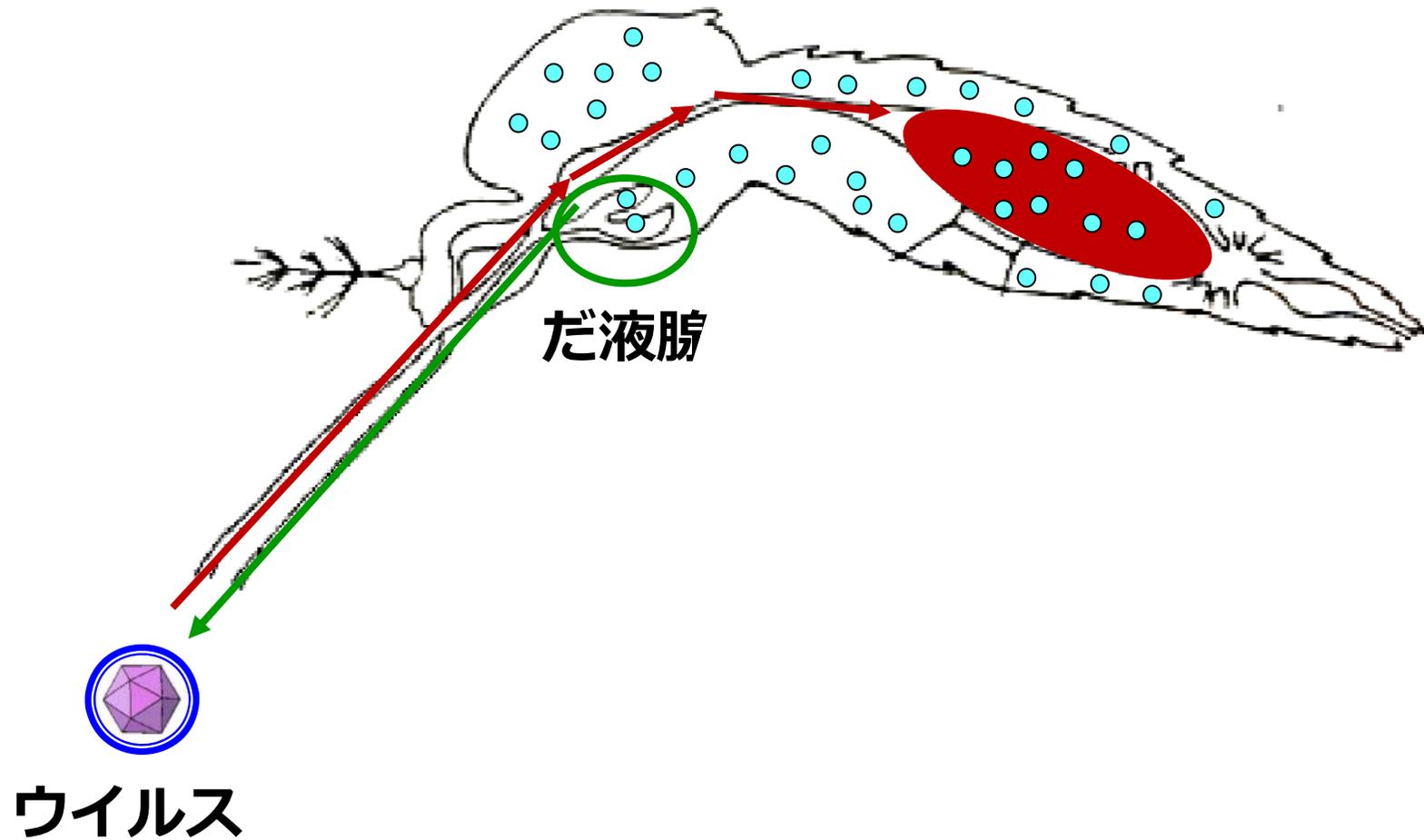
デング熱のうつり方



日本脳炎の場合



蚊は血と一緒にウイルスを取り込む



デング熱

- ヤブカによってうつるウイルス病
- 一年に約4億人がデング熱になり、2万人が死亡している
- 蚊にさされて2~7日後に症状がでる
- 高熱（38.5°C以上）や頭痛、関節痛
- はしかのような赤い発疹は一週間くらいで消える



ジカウイルス病

- ヤブカによってうつるウイルス病
- 蚊にさされて2~7日後に症状がでる
- び熱（多くが38.5℃以下）や頭痛、関節痛、はしかのような赤い発疹、眼がじゅう血するなど
- はっきりした症状がでないことが多い



デング熱とジカウイルス病が流行する 可能性の高い世界の地域



病気にならない方法は？



ヒトスジシマカのぼうふらはこんなところにいる

ぼうふらがでる場所を
なくして
蚊の数を減らす！



蚊にさされない
ようにする！